

<b>第149回人事問題研究部会</b>	
開催	平成28年8月5日（金） PCSA会議室
出席人数	正部員5名、合計5名
出席者リスト	<b>リーダー</b>
	志賀 健太郎      株式会社ニラク
	<b>サブリーダー</b>
	木内 克宏      株式会社パンドラ（アメニティーズ）
	<b>正部員</b>
	佐々木 忍      夢コーポレーション株式会社
	中澤 直樹      株式会社アメニティーズ
	鈴木 崇之      株式会社三永
討議事項	<b>1) 今月の株式会社ダイナム&amp;夢コーポレーション株式会社</b>
	健保組合について
	・ダイナムが入っている健保組合に入る準備を進めている。実務、事務関連の詰めは今後になる。
	・健保組合は対応に時間がかかると聞くので、その情報を共有して欲しい。
	システムについて
	・ダイナムグループで導入しているシステムを当社も導入しようと検討している。
	人事交流受け入れについて
	・5月から開始、特に問題なく進んでいる。徐々に慣れてきていると思われる。
	<b>2) 福岡拡大部会 振り返り</b>
	・アンケート内容の見直しを実施した。
	<b>3) 新卒採用情報交換会 振り返り</b>
	第1部 前回と同じテーマだったのでテーマを変更した方が良かった。
	第2部 ディスカッション形式の評価が高かった。また、いくつかの企画が提案された。
	<b>4) 新卒採用企画案について</b>
	「業界総合サイト」
	・PCSAサイトの閲覧にもつながることが期待できる。
	・各社のホームページへのリンクを張っている会社が少ない。
	・チェーンストアの説明もあるので、採用ページの改訂を提案したい。
	「内定者フォロー」
	「メーカー見学ツアー」
	「内定者合同懇親会」
	「内定者ドラフト会議」
・内定者が企業を指名、企業が内定者を指名。	
「大学対抗パチンコ戦」	
・パチンコを学生に経験させる。	
・1日かけて体験をさせている企業もある。	
「企業内定者対抗のプレゼンテーション大会」	

討議事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 内定した企業のプレゼンテーション大会。自社を知ること出来る。</li> </ul>
	「大学対抗グループによるディスカッション」
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 母集団形成と内定者フォローの2つ。懇親会は、業界の団体を知ってもらう事が出来るので良いと思う。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 遠方なので、実際に集まるのは難しい。内定者フォローの方が良いので、学生目線のホームページや冊子などが良い。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自社のフォロー会合に呼ぶのも難しいので、PCSAで東京というのは難易度が高いのではないか。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各社の利害を意識しすぎると難しいので、業界を意識するとかニュースで取り上げてもらえるような話題性につながる方が実際には良いと思う。</li> </ul>
	その他
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ PCSAに加盟している企業は、安心安全でクリーンなのだと内定者にアピールしたい。PTBなどのコンプライアンスにも注力しているのをお知らせできる。健全性をアピールできる冊子やリーフレットがあるとありがたい。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホームページのデザインやコンテンツなどもイメージアップになるようなものの方がメリットがある。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1か所に集まるのが難しいとなれば、逆に各地の内定者の会合に部会の人間が参加する。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ PCSAホームページや冊子（リーフレット）などの実現可能性を含めて検討したい。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ PCSAのパナーは必要。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ PCSAホームページの改訂は必要。</li> </ul>
	5) 第12回学生懸賞アイデアエッセイ
	審査委員長について
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 結城審査委員長から横山審査委員長に変更になることに関して7月理事会にて承認された。</li> <li>・ 齋木副審査委員長は重任。</li> </ul>
	第12回について
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 委員長と副委員長の点数は、今までと同じ。</li> </ul>
	最優秀1作品 優秀2~3作品
	委員長          6点          3点
	副審査委員長   4点          2点
	審査委員        2点          1点
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 審査委員長、副委員長の審査点が多いのは、評価をするのに長けているという位置づけの為。</li> </ul>
	検討事項
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 時期的に学生の負担になってしまう。</li> <li>・ 人事の立てている目標と今の目標が乖離してきてしまっている。</li> <li>・ 応募数の問題には、大々的に外部に向けて募るべき。</li> <li>・ 採用の企画にコストを費やした方が良いと思う。</li> <li>・ 内定者向けという事であれば、内定者のプレゼン大会のような形の方が実りがある。</li> </ul>
	結論
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 応募要項はそのまま。</li> <li>・ 「1人（1グループ）1作品まで」を追加。</li> <li>・ 全国の大学にPDFデータを送る。「掲示していただけるようであれば、返事を求める。」として要望のある大学にポスター（紙）を発送する。</li> </ul>

討議事項	6) 労政時報勉強会
	・育児介護休業法の介護に関する改正が平成29年1月1日施行なので、それまでに規則の改正などの対応が必要。
	7) 社会保険料の適正化
	・社会保険料の適正化のコンサルタント提案について検討した。
	次回開催
	平成28年9月9日(金)
	午前11時～午後3時
	PCSA会議室